

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名：一般国道 289号 入叶津道路	事業区分：一般国道	事業主体：福島県	
起終点：自：福島県南会津郡只見町大字叶津 至：福島県南会津郡只見町大字叶津		延長：7.8 km	
事業概要 国道289号は新潟県新潟市を起点とし、福島県いわき市に至る延長約260kmの主要な幹線道路であり、広域的な連携・交流を促す重要な路線である。入叶津道路は、直轄権限代行業（八十里越道路）及び新潟県事業（大江道路）と共に新潟県境の八十里越の通行不能区間解消を目的とした、延長7.8kmの2車線道路である。			
S48年度事業化	H 年度都市計画決定	S48年度用地着手	
全体事業費：約99億円	事業進捗率：72%	供用済延長：0 km	
計画交通量：2,190台/日			
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.5 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) / 700億円 事業費： / 678億円 維持管理費： / 23億円	総便益 (残事業)/(事業全体) / 1069億円 走行時間短縮便益： / 974億円 走行費用減少便益： / 89億円 交通事故減少便益： / 6億円	基準年：平成16年
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（新潟県と南会津地域の連携が強化される） ・災害への備え（交通不能区間が解消される）			他2項目
関係する地方公共団体等の意見 国道289号は、地域交流の促進に重要な役割を果たすことが期待されており、渡部恒三衆議院議員をはじめとする4市7町7村の首長および議長で構成される国道289号線建設期成同盟会より早期整備の要望（平成16年8月3日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 会津縦貫南道路が調査区間指定（平成11年度）され、本路線が会津地方と新潟県の地域ネットワークの一端を担う道路として一層重要性が増している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 これまでに、2本のトンネルと7基の橋梁が完成し、引き続き改良工事を促進している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収を平成5年度までに終了し、全線にわたり工事を進めており、平成24年度全線供用予定である。			
施設の構造や工法の変更等 耐候性鋼材を橋梁に採用し、ライフサイクルコストの縮減を図る。			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。